令和6年度　事後評価シート

【事務事業シート】

1

当初									
事　項	**自転車新文化推進事業費**							予算主管課	自転車新文化推進課
事　業 概　要	「サイクリングパラダイス愛媛」の実現に向け、総合的・戦略的な施策を展開し、交流人口の拡大や地域の活性化を図る。							始期	2014
								終期	2025
Ｋ Ｐ Ｉ	**「自転車新文化」の認知度**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	42 %	目標値	46 %	目標値	50 %	目標値 %
	実績値	47 %	実績値	47 %	実績値	38.3 %	実績値	%	実績値 %
	ストック/フロー	フロー	達成率	111.91 %	達成率	83.3 %	達成率	%	達成率 %
コ ス ト			最終現計予算額	47,100 千円	最終現計予算額	49,838 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額 千円
			決算額	46,373 千円	決算額	42,503 千円	決算額	千円	決算額 千円
6年度	要因分析	要因 県内サイクリングイベント等での「自転車新文化」の発信不足や前年度のアンケートの上振れの可能性がある。							
		総括							
	見直し方向性	維持	６年度のKPIの実績は目標を達成できなかったため、７年度以降はKPIは目標達成に向けて、各市町との連携も図りつつ、自転車新文化の普及・拡大を進めていきたい						

2

当初									
事　項	**四国一周サイクリング推進事業費**							予算主管課	自転車新文化推進課
事　業 概　要	世界に通用するサイクリングアイランド四国の実現に向け、四国一周サイクリングの愛媛発着の定着に向けた取組みの強化や、台湾一周を切り口としたインバウンド促進により、四国一周サイクリングの更なる認知度向上を目指す。							始期	2016
								終期	2025
Ｋ Ｐ Ｉ	**四国一周チャレンジ完走者**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	500 人	目標値	1000 人	目標値	1500 人	目標値 人
	実績値	410 人	実績値	321 人	実績値	749 人	実績値	人	実績値 人
	ストック/フロー	ストック	達成率	64.2 %	達成率	74.9 %	達成率	%	達成率 %
コ ス ト			最終現計予算額	37,453 千円	最終現計予算額	32,364 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額 千円
			決算額	37,263 千円	決算額	32,301 千円	決算額	千円	決算額 千円
6年度	要因分析	要因 単年度での完走者数は428名と令和５年度より107名完走者が増加してるが、目標値には届いていない。インバウンドのエントリー実績も昨年度より156名と大幅に増えたものの、国内からのエントリーが伸び悩んでしまった。							
		総括							
	見直し方向性	維持	６年度のKPI実績も未達であるが、徐々に完走者数及びエントリー者数も増加していることからKPIの目標達成すると考えられることから見直しの想定はしていない。						

3

当初										
事　項	**四国一周サイクリング推進事業費**								予算主管課	自転車新文化推進課
事　業 概　要	世界に通用するサイクリングアイランド四国の実現に向け、四国一周サイクリングの愛媛発着の定着に向けた取組みの強化や、台湾一周を切り口としたインバウンド促進により、四国一周サイクリングの更なる認知度向上を目指す。								始期	2016
									終期	2025
Ｋ Ｐ Ｉ	**四国一周チャレンジ登録者**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	1000 人	目標値	2000 人	目標値	3000 人	目標値	人
	実績値	648 人	実績値	468 人	実績値	1016 人	実績値	人	実績値	人
	ストック/フロー	ストック	達成率	46.8 %	達成率	50.8 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終現計予算額	37,453 千円	最終現計予算額	32,364 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	37,263 千円	決算額	32,301 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因 エントリー者は令和５年度に比べ、80名増加しているが、目標値の2,000人には至っていない。インバウンドからのエントリーが増加しているため、国内向けのアプローチが相対的に弱まってしまった。								
		総括								
	見直し方向性	維持	６年度のKPI実績も未達であるが、徐々に完走者数及びエントリー者数も増加していることからKPIの目標達成すると考えられることから見直しの想定はしていない。							

4

当初										
事　項	**しまなみ広域サイクルツーリズム圏域形成促進事業費**								予算主管課	自転車新文化推進課
事　業 概　要	しまなみ海道と隣接する本県側エリアに形成する広域サイクルツーリズム圏域「グレーターしまなみ・えひめ（GSE）」において、滞在型観光推進のための仕掛けづくりや環境整備に取り組む。								始期	2022
									終期	2026
Ｋ Ｐ Ｉ	**松山市、今治市、西条市、上島町を訪れるサイクリング観光客の年間人数（レンタサイクル利用者数）**									
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度	
	Ｒ ４ 年 度		目標値	68000 人	目標値	71600 人	目標値	75200 人	目標値	78800 人
	実績値	64576 人	実績値	66491 人	実績値	71555 人	実績値	人	実績値	人
	ストック/フロー	フロー	達成率	97.78 %	達成率	99.9 %	達成率	%	達成率	%
コ ス ト			最終現計予算額	8,875 千円	最終現計予算額	8,875 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	8,875 千円	決算額	8,875 千円	決算額	千円	決算額	千円
6年度	要因分析	要因 デジタルスタンプラリー"しまひめライド"の実施、インフルエンサーを活用したPR等の影響で令和５年度に比べ約5,000台貸出実績が増えたが、目標値達成には至らなかった。								
		総括								
	見直し方向性	維持	本事業実施により、６年度のレンタサイクルの利用者増加と７年度以降の利用者増加が見込まれるため、今年度も継続して実施する。							

5	当初	事　項	**重信川サイクリングロード魅力体験事業費（中予）**							予算主管課	自転車新文化推進課
		事　業 概　要	子育て世代を始めとした地域住民に対し、誰でも気軽に楽しめる重信川サイクリングロードの楽しみ方を発信するとともに、実際に体験してもらうことで身近な「余暇の定番スポット」として定着を図り、周辺地域の活性化につなげる。							始期	2023
										終期	2025
		Ｋ Ｐ Ｉ	**重信川サイクリングロード土日祝利用者数の増加率(R4年度比)**								
			KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
			Ｒ ４ 年 度		目標値	106 %	目標値	113 %	目標値	120 %	目標値 %
			実績値	100 %	実績値	87 %	実績値	79 %	実績値	%	実績値 %
			ストック/フロー	フロー	達成率	82.08 %	達成率	69.9 %	達成率	%	達成率 %
		コ　ス　ト			最終現計予算額	1,900 千円	最終現計予算額	2,847 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額 千円
					決算額	1,840 千円	決算額	2,779 千円	決算額	千円	決算額 千円
	6年度	要因分析	要因 ６年度は、９月中旬から11月末にかけてデジタルスタンプラリーを実施したが、10月末まで気温の高い日が続き、同スタンプラリーの参加者が伸び悩んだことから、KPI未達成となった可能性がある。 また、アンケート調査の結果、ロード利用のハードルになっている障壁として、「自宅から重信川サイクリングロードまで距離がある」という項目に「当てはまる」と回答した人が約7割となり、最も大きな要因であったことから、サイクリングに興味はあっても、周辺にレンタサイクル施設が少なく、自転車を借りにくい環境であることも、利用者増に繋がっていない要因の一つと考えられる。								
			総括								
		見直し方向性	維持	６年度の目標達成率は、猛暑等の影響もあり想定よりも低調となったが、７年度も同様の影響を受けると想定されることから、７年度のイベント（デジタルスタンプラリー等）実施に当たっては、実施時期をよりサイクリングに適した時期に変更するとともに、イベントの周知期間を十分に取れるよう余裕を持った告知を行うことにより、利用者の増に繋げる。							

6	当初	事　項	**しまなみ地域魅力発信・誘客促進事業費（東予）**							予算主管課	自転車新文化推進課
		事　業 概　要	しまなみ海道・ゆめしま海道沿線地域の行政や民間団体等と連携し、サイクリングマナー向上への取組みを進めるとともに、サイクリスト向けエナジーフードを開発・商品化し、ふるさと納税返礼品への活用等を通じて、サイクリストの満足度向上と地域の認知度を高める。							始期	2023
										終期	2025
		Ｋ Ｐ Ｉ	**今治市、上島町の宿泊者増加率（R1年度比）**								
			KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
			Ｒ １ 年 度		目標値	100 %	目標値	110 %	目標値	120 %	目標値 %
			実績値	%	実績値	97.7 %	実績値	104.7 %	実績値	%	実績値 %
			ストック/フロー	フロー	達成率	97.7 %	達成率	95.2 %	達成率	%	達成率 %
		コ　ス　ト			最終現計予算額	1,500 千円	最終現計予算額	1,750 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額 千円
					決算額	1,500 千円	決算額	1,750 千円	決算額	千円	決算額 千円
	6年度	要因分析	要因 日本人国内宿泊旅行者数は前年度比4.2%増となった一方、令和元年度比では5.9%減となっており、継続する物価高等による日本人の旅行意欲の低下が伺え、しまなみ地域においてもその傾向が見られると推測される。								
			総括								
		見直し方向性	維持	サイクリストマナー向上への取組みはもとより、令和６年度に開発したしまなみ地域オリジナルの魅力商品の販路拡大、認知度向上によりサイクリストの満足度と地域の話題性を高め、更なる成果向上につなげる。							

7

当初									
事　項	**予土県境サイクリングブランド開発事業費（南予）**							予算主管課	自転車新文化推進課
事　業 概　要	予土県境地域の誘客促進及び認知度向上に向け、地元市町等と連携し、サイクリングイベントを軸にした地域ブランドの構築を目指す。							始期	2022
								終期	2024
Ｋ Ｐ Ｉ	**散走イベント参加者数**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	800 人	目標値	1200 人	目標値	0 人	目標値 0 人
	実績値	529 人	実績値	906 人	実績値	989 人	実績値	人	実績値 人
	ストック/フロー	フロー	達成率	113.25 %	達成率	82.4 %	達成率	%	達成率 %
コ ス ト			最終現在予算額	2,717 千円	最終現在予算額	2,717 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
			決算額	2,706 千円	決算額	2,708 千円	決算額	千円	決算額 千円

6年度		
要因分析	要因 イベント開始後、夏休み期間前後は、猛暑が長引いたほか、８月の南海トラフ地震臨時情報の影響などにより、管内全体の入込観光客数自体が減少しており、前半は前年度比86.8%に留まった。 　後半の期間は、SNSによるプロモーションの効果が表れ、前年度比117.3%と参加者が増加した。 　総じて、最も多くの利用を期待した７月から１０月の間の影響が大きく、年目標1,200人は未達成となったものの、前年度の906人から今年度は約100人増となった。	
	総括 「散走」が当地域での観光コンテンツとして適していることが実証できたことから、今後は、当地域での散走（予土まち散走）の認知度向上のため、デジタルプロモーションを強化し、予土まち散走の普及推進に展開していきたい。	
見直し方向性		

8

当初									
事　項	**しまなみ海道・国際サイクリング大会実施事業費**							予算主管課	自転車新文化推進課
事　業 概　要	瀬戸内しまなみ海道開通25周年を迎える2024年に、「サイクリングしまなみ2024」を開催し、しまなみ海道の魅力を広く国内外へ発信するとともに、交流人口の拡大等を通じた地域の振興・活性化を図る。							始期	2012
								終期	2026
Ｋ Ｐ Ｉ	**しまなみ海道･国際サイクリング大会での応募者数**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ ５ 年 度		Ｒ ６ 年 度		Ｒ ７ 年 度		Ｒ ８ 年 度
	Ｒ ４ 年 度		目標値	人	目標値	9000 人	目標値	人	目標値 9000 人
	実績値	8200 人	実績値	人	実績値	6955 人	実績値	人	実績値 人
	ストック/フロー	フロー	達成率	%	達成率	77.3 %	達成率	%	達成率 %
コ ス ト			最終現在予算額	4,725 千円	最終現在予算額	41,834 千円	最終現在予算額	千円	最終現在予算額 千円
			決算額	4,453 千円	決算額	36,557 千円	決算額	千円	決算額 千円

6年度		
要因分析	要因 大会のプロモーションが十分でなかったことから、応募者数が伸びず、目標値には届かなかったと考えられる。	
	総括	
見直し方向性	維持	次回は大規模大会であり、より多くの応募者数を確保する見込みであるため、見直しは検討していない。